

経営の重点課題

テルモ株式会社

代表取締役社長

新宅 祐太郎

2012年5月10日

主な重点課題

1. BCP・安定供給体制の強化
2. 生産投資：成長、コスト競争力
3. 事業ポートフォリオの転換
4. 米国TCVS品質改善投資
5. 成長投資と株主還元

1. BCP・安定供給体制の強化

- 自家発計5基導入
- 東西日本データセンター
- 東西受注センター
- 山口工場新設
 - 国内の東西分散
 - 海外向けコア部材増産
- 原料調達が多様化

昨年の非常用発電



自家発



2. 生産投資：成長、コスト競争力

■ ベトナム

- ハノイ：新棟、カテーテル増産
- 南部：血液システム新工場

■ フィリピン

- 新棟：針・シリンジ増産

■ 中国

- 杭州：カテーテル現地生産、現地販売

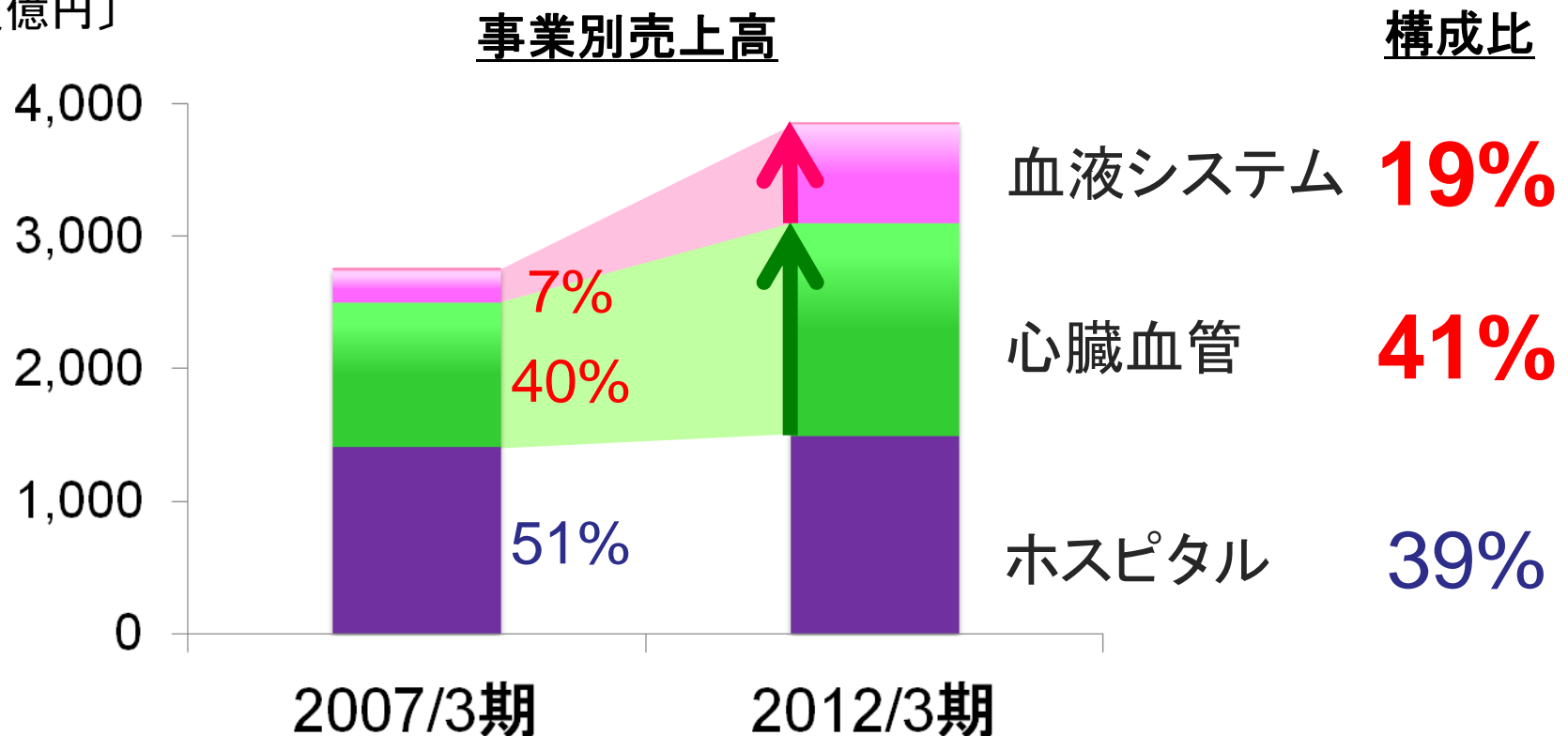
■ 海外生産比率

- 2012/3期末時点：40.4%

3. 事業ポートフォリオの転換

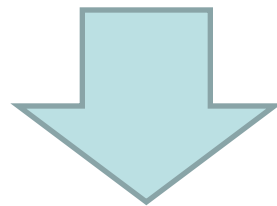
- 高収益で二桁成長が期待できる事業が6割超える
心臓血管、血液システム
- ホスピタルも新製品投入による成長に期待

〔億円〕



4. 米国TCVS品質改善投資

- 2011年9月から米国FDAと合意した改善計画に従い品質システムの改善を実施中
- 当期も前期と同じ水準で品質投資は継続予定
- 当初計画通り、2013年春に完了予定



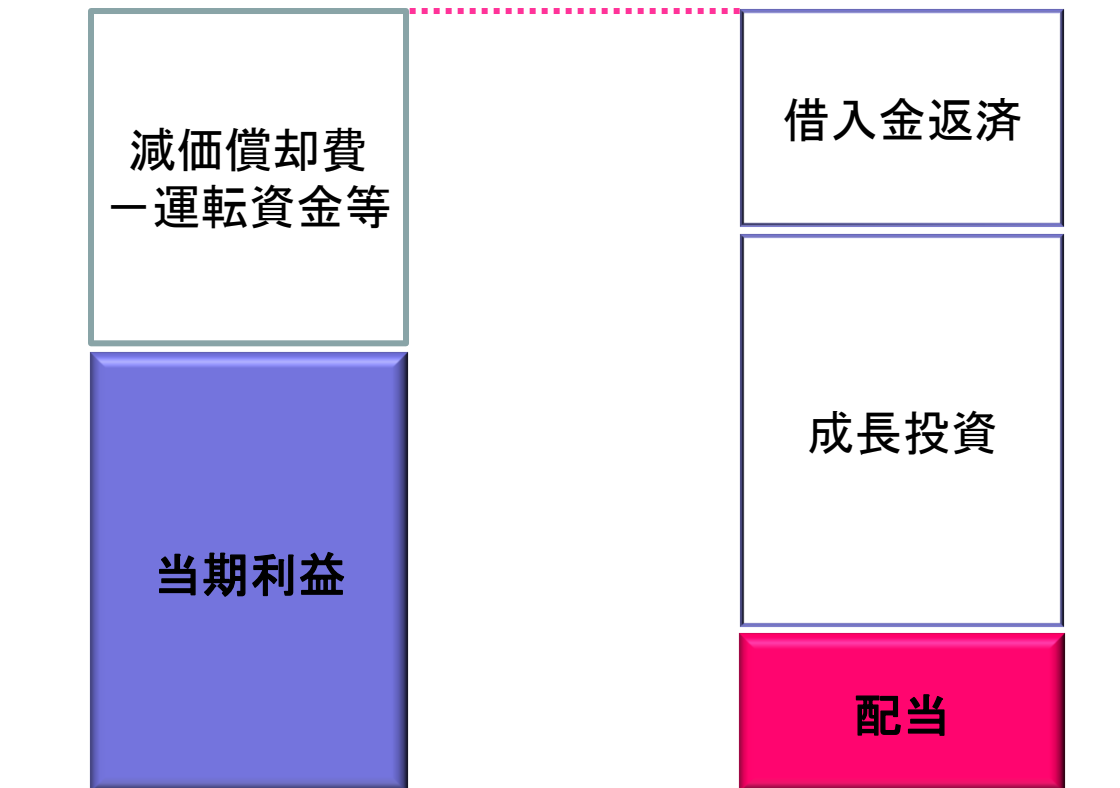
北米市場での事業拡大のための必要要件と
とらえて、全社的レベルアップ

5. 成長投資と株主還元

今後5年間の見通し

営業
キャッシュフロー

投資・財務
キャッシュフロー



成長投資と
借入金返済を
バランス良く実施

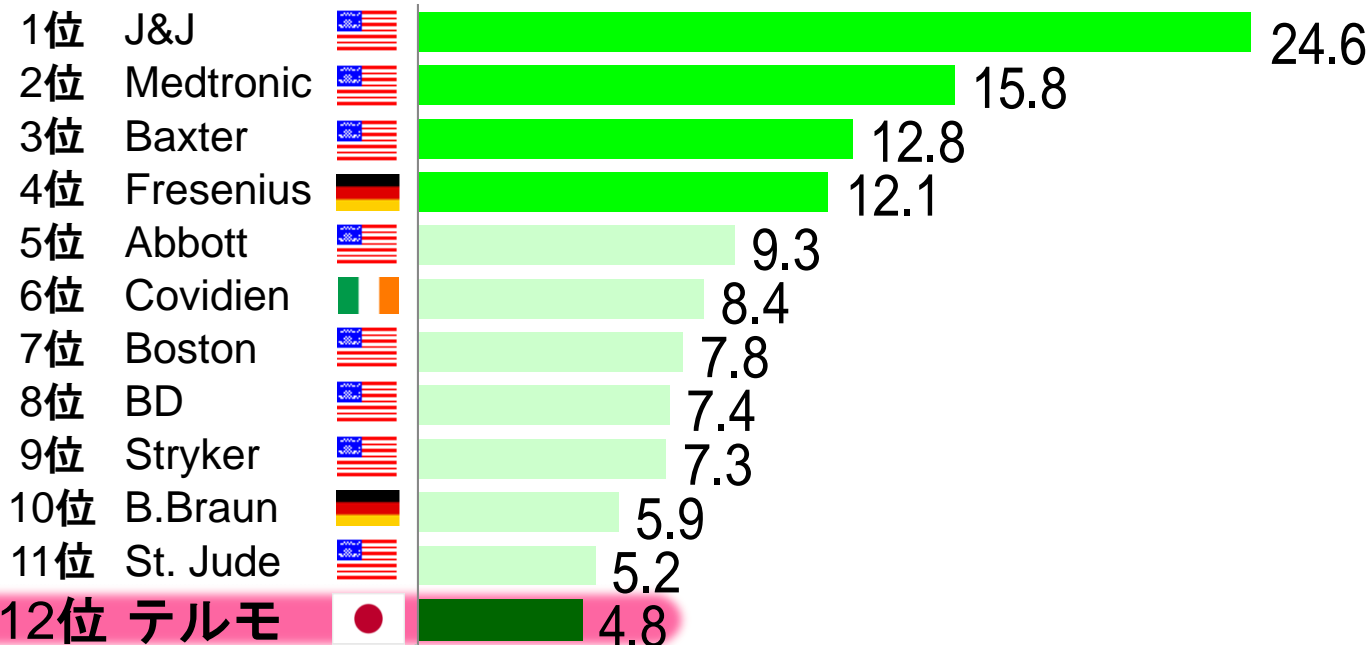
当期利益の
30%を目標

着実に世界で存在感のある企業へ

世界の医療機器企業ランキング

(画像診断系企業除く)

(US\$B)



2012/3期

12位 テルモ

4.8



内部成長・買収・円高

2007/3期

19位 テルモ

2.2

(注) MPO Magazine ランキングより画像診断系企業を除いた。
テルモは2012/3期 業績予想値1\$=80円で換算

おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。